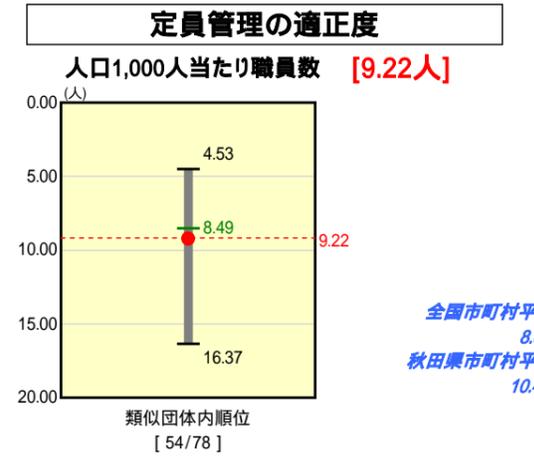
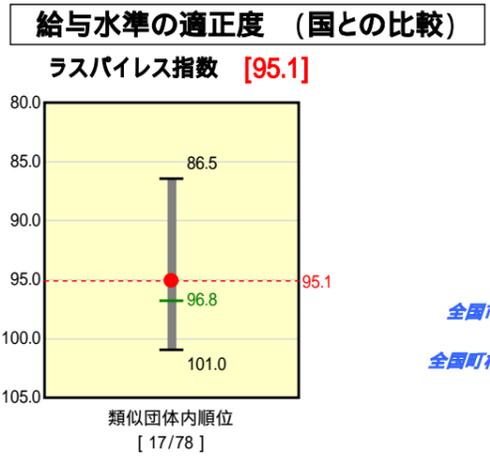
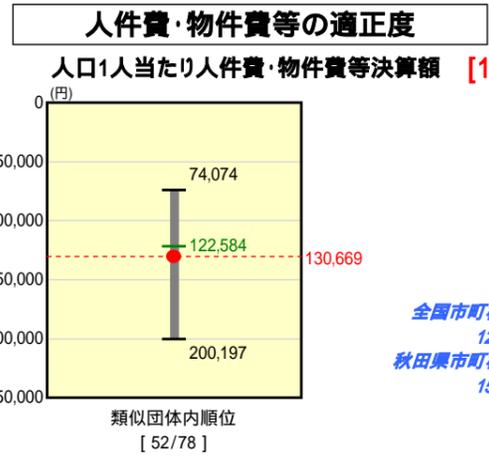
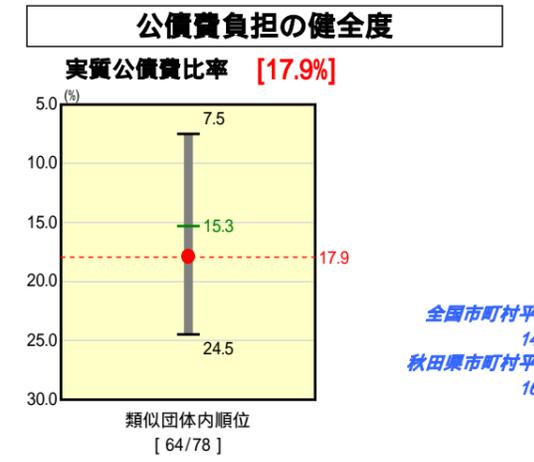
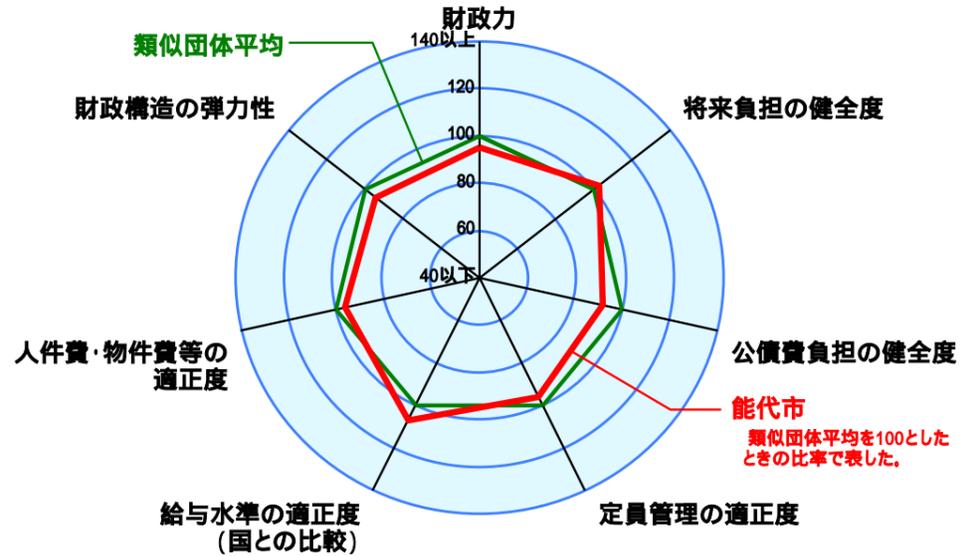
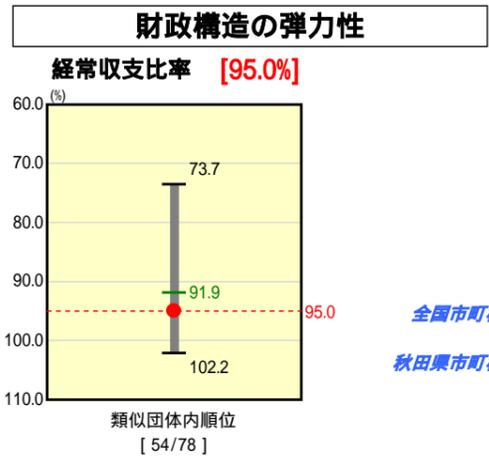
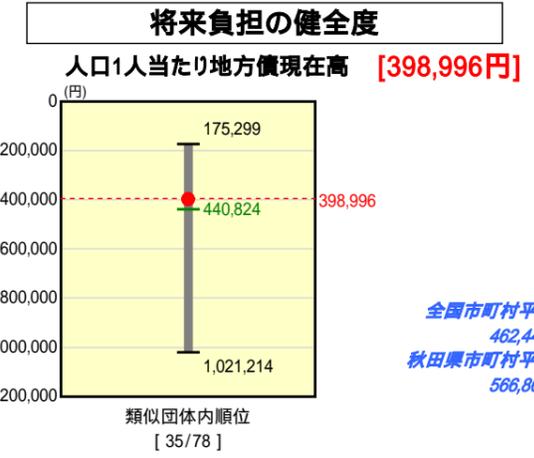
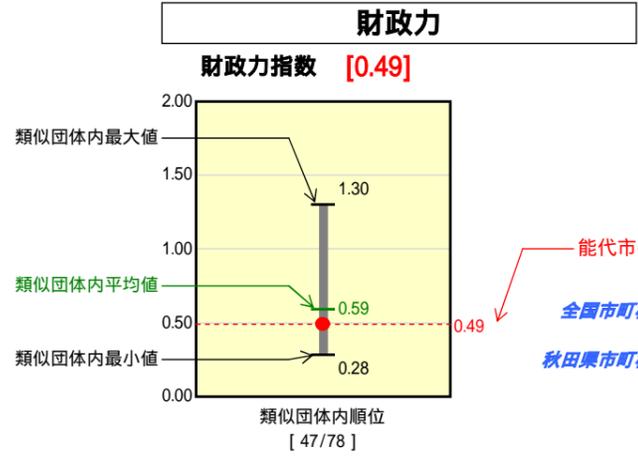


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 秋田県 能代市

人口	63,985 人(H18.3.31現在)
面積	426.74 km <sup>2</sup>
歳入総額	25,403,288 千円
歳出総額	25,047,058 千円
実質収支	321,811 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数: 類似団体比0.1ポイント下回っているが、以前より事務の合理化等には努めている。平成18年3月21日に二ツ井町と市町村合併を行ったことから、これまで以上にコスト削減による歳出の抑制、確実な税収の確保などを図り財政状況の健全化に努める。

経常収支比率: 類似団体比3.1ポイント上回っている。行財政の効率化を図るため平成18年3月21日に市町村合併を行った。同年9月に「集中改革プラン」を作成し、事務事業の再編・整理、民間委託等の推進、定員管理の適正化等に努め、効率的な行政運営による財政の健全化を図る。

人件費・物件費等の適正度: 類似団体平均をやや上回っているが、事務事業の見直しや定員管理の適正化を図り、引き続き削減に努める。

人口ひとりあたり地方債残高: 類似団体平均を下回っているが、引き続き後年度負担を考えた計画的な借入に努め、財政の健全化を図る。

実質公債費比率: 類似団体より2.6%上回っているが、公債費負担の中長期的な平準化の観点も含めながら事業の選択を行い、比率の改善に努める。

人口1,000人当たり職員数: 類似団体平均を上回っているが、18年9月策定の「集中改革プラン」により平成22年4月1日の職員数を589人(平成17年4月1日の職員数673人と比較すると、削減数は84人、削減率は12.5%)と設定した。平成28年4月1日には、職員数を市民1000人に対し7人の割合とする考え方で、新規採用者数を定年退職者の五分の一とし、財政の健全化を図る。

ラスパイレース指数: 国の基準及び類似団体を参考に給与水準の適正化に努める。